

# 道徳教育全体計画

## 北海道教育の基本理念

「自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む。」「【自立】  
「心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む。」「【共生】

## 生徒の状況

- ・素直で落ち着いた生徒が多く、教員との関係も良好である。
- ・中学校から学習内容の理解が困難であった生徒も多く、全体としての学力は高いとはいえない。
- ・中学校時に不登校等の経歴を持つなど、人間関係のあり方に困難を抱えていた者も少なからずいるが、それぞれ居場所を確保している。

## 学校教育目標

- 郷土の発展に向け、自立した人間として他者と共に充実した人生を生きる人を育てるために
- (1) 生涯にわたり、自ら学ぶ意欲と創造力を育てる
  - (2) 他者や自然とのかかわりの中で豊かな心を育てる
  - (3) 健やかに調和のとれた心と体を育てる
  - (4) 農の大切さを知り、土に親しむ心を育てる

## 関係法規等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 北海道教育推進計画
- 根室の教育
- 中標津町教育行政方針

## 地域との関わり

- ・地域の花壇づくり交流や本校農場を活用した計根別食育学校を通して地域の幼・小・中学校と交流を図る
- ・酪農委託実習および企業委託実習を実施し、地域農家や企業から指導を受け、専門性と社会性を高める
- ・農高祭や各種販売会を通じた地域住民との交流を図る
- ・計根別地区青少年健全育成協議会との連携を図る
- ・薬物乱用防止講座や交通安全講座などを通して、地域関係機関からの指導の連携を図る
- ・各専門分会活動や部活動、ボランティア活動の中で、地域と密接に連携した活動を図る

## 本校の道徳教育の目標

- 1 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かす
- 2 我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る人間を育成する
- 3 公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努める人間を育成する

道徳教育推進教師

## 教科

### 公民科

思想・宗教・現代社会の問題などを通じて自己の人生への考察を深め、自らが社会を形成する有為な存在であることを自覚し、共同体の在り方を深く考え、行動できるように育てる。

### 地理歴史科

自国や他の各地域の歴史・文化を学ぶことで国際社会における責任感や、他の国や地域に対する広い視野を持ち、積極的に社会参加を行う態度を育成する。また、文化や伝統を大切に、郷土や国を愛する豊かな心、自然を守り豊かな環境を後世に伝えていく使命感を育む。

### 農業科

実践的な体験を通し、心豊かな感受性を育むとともに、農業に対する探求心を培い、動植物の飼育・栽培の基礎基本を学ぶことにより、農業の大切さや生命の尊さ、地球環境への思慮を深め、より社会に貢献できる人間性に富む人材育成に努める。また、実験実習を通じ、人との協調性や相手に対する思いやりや感謝の心を育てるとともに、自ら進んで学ぶ姿勢や想像力を養い、幅広い視野をもった農業後継者並びに農業の良き理解者を育成する。

### 情報科

情報機器の活用を通じて現代に必須な能力の育成をはかる。かつ情報モラルを学ぶことで身近な危機管理能力を高める。情報に関する資格取得により、生徒自身の自信向上と興味関心向上に努める。

### 数学科

数学的活動を通し、論理的思考や、多面的分析力、問題を把握する力を養う。

### 家庭科

家族の機能や社会とのつながりについて学ぶことで、家庭や地域社会において自分が果たす役割や他者との関わり合いについて理解を深め、自己への責任を意識する態度を育てる。

### 国語科

文章・作品を通し、自国の伝統文化を理解することによって、人生をいかに生きていくべきかを学ぶ手立てとする。生徒同士の話し合いを通じて、他者の立場になって物事を考える態度や、自己との違いを知り、他人を尊重する態度を育てる。

### 外国語科

外国語を通してコミュニケーションスキルを高めるとともに、母語や自国の文化だけでなく他言語や異文化を尊重し、多様なものの見方や考え方を理解する態度を育成する。広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養う。

### 理科

人間と自然との密接な関わりや、生命・環境について学ぶことで、地球環境に配慮する心や、生命を尊重する態度を育成する。

### 保健体育科

スポーツを通じて心身の健康の保持増進を図るとともに、集団活動に必要な様々なルールを尊重する姿勢を養う。グループ活動を通して、互いに創意工夫を行いながら、コミュニケーション力を養い、自分と他人を大事にする心を育てる。

### 芸術科

書道を通し、芸術に対する感性を高め、豊かな情操を育成する。用具等の取り扱いを通して、物を大切にする心、さらに挨拶の指導を通して、規律を大切にする心を育成する。

## 特別活動

### 学校行事（生徒会活動を含む）

- 集団への所属感や連帯感を深め、体験活動を通じて全人的育成を図る
- ・儀式：入学式、卒業式、始・終業式
  - ・文化：芸術鑑賞、農高祭
  - ・健康安全：生と性の学習、交通講話、体育大会
  - ・旅行行事：見学旅行
  - ・奉仕活動：交通安全ボランティア

### LHR活動

- 社会的な自立心や主体性を高め、集団生活の中で自己確立と協調性を育む
- ・学級目標や年間計画を作成する中で、目的意識をもった集団生活を送るための話し合い活動を行う。
  - ・行事の計画や準備を通して、学校生活に主体的に参画する態度を育成する。

### 部活動

- 体育的・文化的な課外活動を通して所属感・連帯感を深め、協同一致の精神や豊かな心を育む
- ・部活動：卓球部、陸上部、サッカー部、バドミントン部
  - 農高太鼓局、ボランティア部、美術部

## 分掌指導

### 教務部

学習態度や基礎学力を向上させることで、伝統・文化の尊重や民主的な社会、国際社会・環境に関する態度を育てるための素地を醸成する。芸術鑑賞により豊かな心を育む。

### 生徒指導部

集団の一員としての自覚を深めさせ、公共心や社会規範意識を涵養する。生徒の内面理解を深め、心の触れ合いを図る中で個性や自主性を伸長させる。家庭や地域関係機関との連携を深め、農業クラブや課外活動などを通して生徒の自主性を助長する。生徒会活動のより一層の発展を目指し、生徒の意識を高め、民主的な自主活動を推進させる。

### 進路指導部

生徒の個性適性を的確に把握し、自己実現を図る具体的な指導を推進する。正しい職業観を育む中で、公共の精神や主体的に生きる態度を醸成する。

### 保健部

心身ともに健康な生活を保持推進させる中で、人間尊重の精神と豊かな心を育む。様々な形態運動により、生命尊重の態度を養う。住み良い環境作りのための校内外清掃活動などを通して、公共心を養う。

### 農場部

プロジェクト教育を基盤とし、農業等に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させることを目標とする。また、酪農・企業実習など多くの体験や学習の機会を通して、自らの考えを深め、物事に対し主体的に判断し行動できる能力を育て、望ましい職業観を養わせることに努める。さらには、自らに相応しく、より良い生き方を構築できるよう、自分自身に固有の選択基準のない、判断基準を培うことができる正しい環境作りに尽力する。

## 家庭とのかかわり

- 豊かな心をはぐむために多くの大人が生徒に関わることができる体制
- ・食、健康に配慮した基本的生活習慣の確立
  - ・保護者の学校行事への参加協力
  - ・家庭への積極的な情報の発信
  - ・労務観の育成